

発足記念セミナー「木育のススメ」実施報告

「NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワーク」の初めての事業となる発足記念セミナーが、平成 21 年 01 月 16 日に文京区の林友ビル会議室で約 40 名の参加を得て開催されました。

講演者は浅田茂裕埼玉大学教育学部準教授、山下晃功島根大学教育学部教授及び河野裕之林野庁木材利用課課長補佐のお三方でした。

埼玉大学教育学部準教授の浅田茂裕氏は、日本木材学会林産教育研究会幹事で、木育推進体制整備総合委員会委員を務められております。学校などの教育環境、教育材料への木質系材料の効果などについて研究を進めておられます。当 NPO の会員でもあります。



当日は、全国の小学生から大学生にいたる約 7 千名を対象に実施した木材や森林に関する経験、関心・態度、知識理解等についての調査結果を基に「木育推進に向けた学校教育の現状と課題」と題して講演いただきました。アンケート

調査結果の分析として、基本的科学的知見、客観的事実に対する理解不足・誤認が大きいこと、学校間格差の存在は環境理解に向けた標準的な内容の不在が問題であること、光合成について樹木が炭素を固定するという環境との関わりからの指導があまりないことがうかがわれること、木材学習の導入として木工教室が優れていること等が発表され、加えて浅田氏ご本人の木育への大きな期待が紹介されました。

島根大学教育学部教授の山下晃功氏は、日本の木工教育の第一人者で、木育推進体制整備総合委員会の座長を務めておられます。木育学校教育と社会教育の両分野で木工教育の普及実践活動と木工学習プログラムの開発研究に精力的に取り組まれており、「木育のすすめ」（海青社発行）など多数の著書があります。当 NPO の会員でもあります。



当日は、韓国の木育状況の視察を踏まえ、「木育の意義と実践-日本と韓国の事例」について講演していただきました。独特のユーモアと軽快な語り口でご自分が、韓国で参加し

た首都ソウル中心部で開催された木育関連イベントの盛況な様子及び韓国における木育の現状を多くの映像を交えて紹介されました。特に、私立の幼稚園での園児の体格に合わせた施設、工具等が整備された中での韓国の木工教育活動の最先端の事例を紹介いただきました。

また、相対的にみて、日本は木工教育施設の整備及び教材の充実面では世界でも木工・木育について先進的であることも紹介されました。

林野庁木材利用課消費対策班担当課長補佐の河野裕之は、国の行政における木育を含む木づかい運動事業の担当者であります。御本人もかつて東北森林管理局在職時に、森林環境教育を体系的、効果的に進めるシステム作りに直接携わった御経験があられます。

当日は、行政の立場から「木育のススメ」と題して講演いただきました。

木育の考え方について、イメージ図を使った木育フラワーによるステップ毎の活動内容及び平成20年度の国の補助事業として進められて

いる木育推進事業のアウトプットを含む概念図等を使って解りやすく御説明をいただきました。

当日は、元林野庁長官の小澤普照氏並びに岩本隼人林野庁木材利用課長等多くの方々にご参加いただきました。

また、質疑においても多くの方々から広範にわたり、活発な質問・意見等の発言がなされ、盛会のうちにセミナーを終了することができました。

講演者。参加者をはじめ、関係者の方々に改めて感謝申し上げます。

